

令和4年度県東地区PTA指導者研修会実施報告

〔全体会〕

11月12日(土)令和4年度県東地区PTA指導者研修会が「学校、家庭、地域社会の連携を担うPTA活動の在り方」

～青少年に豊かな人間性を培うために～を研修テーマに、茨城県鹿行教育事務所長 遠藤智幸様、鹿行地区教育長会長 横田英一様、鹿行生涯学習センター所長 田口明宏様の御臨席をいただき、茨城県鹿行生涯学習センターを会場として開催されました。

講師には(株)鹿島アントラーズFC地域連携チームマネージャーの岡本文幸氏をお迎えし、

「プロスポーツクラブの地域課題解決に寄り添う関係づくりとは？」をテーマに、鹿島アントラーズがすすめている地域連携の形(特に下記の3点について)ご講演いただきました。

- ①ホームタウン5市の小学校へのアントラーズ選手による学校訪問
- ②サッカースクール開催
- ③スポーツクリニックによる、けがをした子どもたちの治療等、側面からのバックアップ

その他、岡本氏自身が子どもたちの指導者として心がけたことは、「会話を丁寧におこなうこと」そして答えを教えず自分たちで導き出すように仕向けることで「子どもたちが自ら考える力を育てる」とことと聞き、すぐに答えを求めたがる現在の世の中を考えさせられました。

部活動の地域移行に関しては、指導者の育成面で貢献していきたいと語られました。

続いて、茨城県PTA連絡協議会会長の畠山佳樹氏より「学校の働き方改革とPTAの関わり」～子どもたちのために～をテーマに、令和5年度から始まる部活動の地域移行について、必要性や移行パターンの提示など、わかりやすく詳しく聞くことができました。個人的に一番驚いたことは、「小学校教諭の約3割の人が過労死ラインとなる残業をしている」ということです。

今後、PとTともに協力し合い、子どもたちの未来のために改革をすすめる必要性を強く感じました。

指導者研修会開催にあたり、分科会発表PTA始め、各市PTA会長さん・事務局の先生、ご参加くださった会員の皆様、フルに動いてくださった役員の皆様の協力により、3年ぶりにリアル開催できましたことに深く感謝いたします。(県東P連会長 米川 和徳)

